

熊本のDX化を支援※DX…デジタルトランスフォーメーション

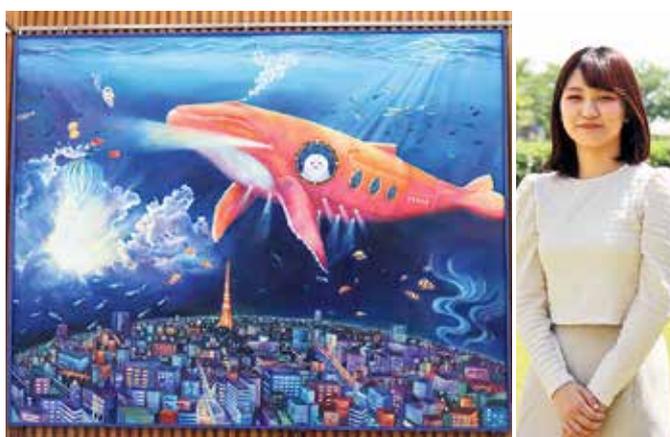
株式会社 iroha. と立地協定締結

町は5月9日、県を立会人として、IT技術を活用したウェブマーケティングなどにより、ベンチャー企業や地方企業の事業拡大支援事業を手掛ける株式会社 iroha. (東京都)と立地協定を結びました。

協定に際し、同社の大熊勇樹代表は「益城町の立地の良さ、人々の温かさに魅力を感じた。iroha. の成長とともに町を元気にしたい」と、本町に立地を決めた理由を述べました。同社は、昨年完成した宮園のシェアオフィスに入居しています。



県庁で行われた立地協定調印式。右から2人目が大熊代表



㊤交流情報センターミナテラスに飾られている絵画 ㊦岡崎さん

絵でいざなう夢の中の世界

岡崎遥佳さんが町に絵画を寄贈

岡崎遥佳さん(安永2町内)から町に絵画「まだ夢の中」が寄贈されました。

描いたのは、潜水艦のような大きなクジラに乗って泳ぐアザラシの夢の中の世界。昨年、岡崎さんが大学在学中に約1年をかけて制作した同作は、国立新美術館(東京都)で開催された第98回白日会展にも出展されました。

岡崎さんは「海・宇宙・空を混ぜ、いろいろなものを散りばめて描いた。絵を見てわくわくを感じ取ってほしい」と話しました。

環境保全への情熱の結晶が栄冠

広安西小環境委員会の壁新聞が環境大臣賞を受賞

広安西小環境委員会が作成した壁新聞が、2021年度全国エコ活コンクール(公益財団法人日本環境協会主催)の壁新聞部門で環境大臣賞を受賞しました。

受賞作は、赤井火山と地下水の関係などを取り上げた「やっばすごか!熊本のわき水」。児童たちが、取材や水質調査などで地域の人たちの協力を得ながら作り上げたもので、全国から141枚の応募があった中での受賞です。

5月12日、同校で在校生に取材を実施。受賞の連絡が入った時には、「めっちゃうれしい」と飛び跳ねたそうです。また、4月に学校へ届いていた賞状の大きさに、児童たちは目を輝かせていました。

【写真説明】環境委員会のメンバー:上段左から森陽向くん、瀧本見生くん(以上、受賞当時小学6年生:写真は森くんの家族からの提供)、下段左から中山空璃さん、野本柚音さん、緒方虹心さん、田邊ももさん(以上、受賞当時小学5年生)

